

スタートの号砲を待つ間の緊張感。国籍を超えたランナー達の連帯感。そしてスタートの合図とともに、3万人を超すランナーが一斉にそれぞれの思いを胸にパリの街へと駆け出します。

まずは普段、車で占領されているシャンゼリゼ大通りの石畳を、コンコルド広場に向かって進みます。何せエントリーは3万人（2010年は37,000人！）。シャンゼリゼ大通りがとてつもない数のランナーで埋め尽くされます。スタートはゆっくり、ゆっくりと。エリートランナーがスタートしてから最後尾にならんだランナーがスタートラインを越えるまで30分近く！！その間、シャンゼリゼ大通りの真ん中を堂々と歩くことのできる幸せをかみしめます。

約2kmのシャンゼリゼ大通りは少し下り坂、列もバラけてきて、そろそろ自分のリズムで走り始めることのできるコンコルド広場からは、パリの大動脈となるリヴォリ通り（rue de Rivoli）を駆け抜けます。セーヌ川に沿って右手にルーブル美術館、ノートルダム寺院、そして左手にはパリ市庁舎・・・次から次へと歴史的建造物が目の前に現れるこの迫力・そして美しさ。自分の足でパリの中心を走ることのできる幸せを感じます。いつも見慣れている風景なのに、通りの真ん中から走りながら見る光景は、また格別です。

パリの新オペラ座・バスチーユを抜けるとヴァンセンヌの森へ。緑豊かな森の中から聞こえてくるのは、ランナーを元気づけてくれる生演奏や沿道の人々の応援。また42kmの長旅には水分・栄養補給も欠かせません。パリ・マラソンでは2,700人のボランティアが9か所に分かれて、バナナ・オレンジ・ドライフルーツ・角砂糖・ミネラル・ウォーターをランナーに配っているのですよ。つらくなった時、どれだけ彼らの励ましや食べ物に勇気づけられたことでしょうか！！さらに、この大会のために準備されたミネラル・ウォーターの総本数は約43万本！こうしたボランティア皆さんの支えもあって、ランナー達は必要なエネルギーを補給しながら、そして生演奏や沿道の声援を力にして走ることができるのですね。

さてヴァンセンヌの森を抜けるとそろそろ折り返し地点。今度は左手にセーヌ川を見ながら川岸のすぐ横の道を駆け抜けます。場所によってはトンネルになっていて、その中に入るとランナーが皆一斉に「On n'est pas fatigué!（僕たちは疲れてないぞー!）」と歌いだし、その声がトンネルの中で響き渡るのですが、この掛け声が、そろそろ疲労がたまってきた体に気合を入れる重要な役割を果たしているんですね。

そして 30km を過ぎるとエッフェル塔が目の前に現れます。あともうひと踏ん張り！ブローニュの森へ入って遭遇する上り坂はさすがにきついですが、ゴールはもうすぐ！！
パリでも超高級住宅が並ぶ、フォッシュ大通り（Avenue Foch）に入ると凱旋門広場のゴールまであと 1,5km。パリの市内を駆け抜けた 42.195km の旅の終着点です。本当にお疲れ様でした！！

ゴールではめでたく完走をはたしたランナー、ひとりひとりに完走メダルがボランティアから首へ掛けられ、このメダルはランナーの勲章として、いつまでも思い出に残るものとなるでしょう。写真にもあるように各年によってメダルの模様が違うようですが、その模様がエッフェル塔や凱旋門は、さすがにパリならではの！？

いかがでしたか？このパリ・マラソンは申し込みが先着順ですので、友人・カップル・家族みんなで申し込み&エントリーすることができるのもうれしいですね。東京マラソンの抽選で残念な結果となっても、パリがあなたを待っていますよ！！データによれば、2009年にエントリーした 37,000 人のうち、開催地であるフランス以外の国からの申し込みは何と 30%を占め、93 カ国という多くの国々からランナーが集いました。まさに「世界規模の大会」と言えるでしょう。

パリ・マラソン公式サイト：<http://www.parismarathon.com>



2005年 パリ・マラソンのロゴ入り参加賞 T シャツ



メダルと参加賞Tシャツ